

# 日本遺産 「北前船寄港地」

鱒ヶ沢町・深浦町・野辺地町の3町は、青森県で唯一の日本遺産「北前船寄港地」に認定されている。江戸・明治時代に北前船が盛んに往来した3町には、当時の船絵馬やお祭りなど、当時を知ることができるモノやコトが受け継がれてきている。

## 鱒ヶ沢町

津軽藩の海の玄関であり、米の積み出し港として重要視されていた。

### ①白八幡宮絵馬群

全国の船乗りから信仰され、奉納された船絵馬12点。大型の「鱒ヶ沢湊図絵馬」が有名である。



(鱒ヶ沢町教育委員会撮影)

### ②白八幡宮玉垣

瀬戸内産の御影石が海路運搬されて建てられた。玉垣一本一本に奉納者の名前が刻まれている。



(鱒ヶ沢町教育委員会撮影)

## 深浦町

北前船が船出の風を待ったり、風雨から避難をしたりする港として重要な役割を果たしていた。

### ①円覚寺奉納海上信仰資料

船乗りたちが航海の安全を祈願して奉納された船絵馬や鬘額等、合計106点。



(深浦町教育委員会撮影)

### ②円覚寺宝篋印塔

北前船で運ばれたとされる笏谷石（福井県産）で造られた供養塔。



(深浦町教育委員会撮影)